

はじめに

山陰防災フォーラム
2015年春の講演会・現地見学会
大田町あすてらす 研修室1
平成27年5月24日

大田市の自主防災組織等について

大田市総務部危機管理室

昨年は・・・



広島土砂災害



台風(18・19号)上陸



御嶽山噴火



長野県北部地震

昨年

近年、大規模災害が多発！

- 一昨年は、島根でも・・・
 - ・平成25年 山口津和野豪雨、江津市浸水害
- 大田でも
 - ・1時間に100mmを超える記録的雨量を観測

➢平成25年7月30日の大雨(梅雨前線)

人的被害なし。池田町で土砂の流入により住家1棟の一部損壊。

時間雨量100mmを超える記録的雨量を観測。

床上浸水3棟。

床下浸水37棟。自主避難21世帯、1保育園。

土砂崩れ、落石等による道路・農地・農作物被害が多数発生。

➢平成25年8月1日の大雨(梅雨前線)

人的被害なし。

床上浸水1棟。

床下浸水22棟。自主避難2世帯、1保育園。

国道9号等、道路冠水による通行止めや土砂崩れ、

落石等による道路・農地・農作物被害が多数発生。

大田市内



大田市内



現状

「自然災害」

全てを防ぐことは困難

自助・共助・公助

住民一人ひとりが自分を守る

自助

共助

公助

地域社会が

行政が守る

お互いに守る

防災関係機関の防災・減災対策(公助)

- 発災前 → 河川、道路、堤防の整備など。
避難所の確保や備蓄品の整備など。
- 発災時 → 被害拡大を防ぐための対応。
- 発災後 → 被災者の救援、救護など。

防災関係機関の対応(公助)だけでは限界がある。

大規模災害時 → 早期に実効性のある対策が困難。
行政自体が被災している可能性。

約8割

きっかけ

平成7年1月17日午前5時46分『阪神淡路大震災』

死者約6,400人

地震発生直後、各消防署に通報や駆け込みが殺到

・救助要員や資機材が追いつかず、倒壊した建物で道路が寸断されて現場に急行できなかった

・さらに、火災の現場では断水のため、消火のための水を確保できなかった

こうした中、大きな力を発揮したのは、
近隣の人たち！

救助された人の約8割は、自力または家族・近隣の
人々の活動によって救助されました

「自助」と「公助」

住民1人ひとりが、自分自身を守る。

【自助】

地域や近隣の人々が互いに助け合う活動。

【共助】

○地域における個々の努力と助け合い
重要

自助

共助

隣近所の持つ最大の特徴は「即応性」

○危険な場所、安全な場所、一人暮らしの方など
要支援者の家等それぞれの実情を

最も知っているのは地域

○力を合わせて住民の方々が中心となった

防災力を高めることが重要